


分野	22	高齢福祉・障がい福祉	通番 35
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実	
5年後の目標		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。	

概要									
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課			
	一般介護予防事業		会計	款			項	目	
			介護	3	1	2	1	167,351,953	高齢介護課
					2	1	1		
4					1	1			
事業の概要									
<p>高齢化の急速な進展により、介護保険・生活支援サービスの需要の増加が見込まれるため、介護保険制度改正に伴う新総合事業への移行を受けたNPO法人などの地域資源を活用した介護予防の取り組みを更に推進します。また、老人クラブなど地域主体の取り組みを支援し、身近な地域で介護予防に取り組める環境を整備します。</p>									


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	介護予防教室等の参加者数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	3,600	3,700	5,000	5,500	6,000
	205(平成26年度)	実績	4,726	5,557	6,194	6,977	2,796
<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、今までの実施方法を見直し、広報紙やFMおとくに、ホームページ、チラシを通じて広く65歳以上の高齢者に対し啓発を行いました。 ・自治会館等を利用した集合型介護予防啓発イベント「健康フェスタ」は個別型に変更し、支援が必要な方の把握に努め、支援が必要な方には地域包括支援センター職員が訪問しました。 ・身近な地域での介護予防実践のための介護予防サロンは、緊急事態宣言中は中止しましたが、開設時は感染予防を施し、実施できるよう支援を行いました。</p>					<p>介護予防サロンの様子</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和2年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>元気な高齢者の割合</p>		<p>当市においては、65~74歳で要介護認定を受けていない人の割合は95%前後で推移しています。</p>
<p>・例年実施している介護予防全体会はすべて中止をしたため、目標数には達しませんでした。5年間で介護予防に取り組む方は増えています。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための留意方法を支援したことにより、身近な地域で自主的に感染に留意した介護予防サロン等の取り組みが実践できています。 ・介護予防サロンは、新型コロナウイルス感染拡大前は8か所でしたが、会場である介護サービス事業所での利用ができなかったため現在は6か所に減りました。実施できていない2か所については新型コロナウイルス感染収束後は再度開設する予定です。</p>						
課題等		<p>・多人数で集う方法以外での介護予防の啓発を行いました。どの程度実践につながっているかが見えにくい状況があります。 ・外出自粛と介護予防は相反するものであるため、啓発の方法には工夫が必要です。</p>				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
2: 進め方の改善の検討が必要		<p>・対面での介護予防の啓発や実践が重要であるため、少人数で短時間で実施できる介護予防教室を企画します。 ・地域での介護予防を推進するために、継続実践と感染防止の両立を支援します。</p>

分野	22	高齢福祉・障がい福祉	通番 36
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実	
5年後の目標		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	高齢者健康・ 生きがいづくり推進事業		会計	款	項	135,722,687	高齢介護課
			介護	3	1		
事業の概要							
地域団体やボランティアとの連携により、高齢者の閉じこもり・認知症予防や生きがいづくりを目的としたカフェ・サロン等高齢者の集える場の整備を促進します。また、新総合事業における市独自サービスの実施を踏まえ、市独自サービスの担い手となる「くらしサポーター」や地域や介護施設でのボランティア活動を通じて、元気な高齢者の生きがいづくりとなる「地域お助けサポーター」、地域で自主的に介護予防に取り組む人材として「自分サポーター」を養成します。							


令和2年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	高齢者の健康・生きがいづくりを目的としたカフェ、サロン数				単位	か所
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	28(平成26年度)	目標	30	31			
		実績	30	32			
	指標(H30年度～)	介護サポーター養成講座(受講修了者数)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
平成29年度 新規事業	目標			600	900	1,200	
	実績			301	362	414	
<ul style="list-style-type: none"> 介護サポーターとして、自分サポーターと地域お助けサポーターの養成講座を行いました。 自分サポーターと地域お助けサポーターはステップアップできる仕組みとなっており、令和2年度は3名がステップアップされました。 地域お助けサポーターについては、令和2年度は19人が活動されています。令和元年度から施設での活動に加えて在宅でのごみ出しサービスも開始し、サービス提供の幅が広がりましたが、新型コロナウイルス感染症対策で施設での活動が制限される等の状況が続いています。 					養成講座受講の様子		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		元気な高齢者の割合		当市においては、65～74歳で要介護認定を受けていない人の割合は95%前後で推移しています。	196
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は地域お助けサポーター養成講座を2回実施し、16人が修了していますが、受講修了者数の目標値は達成できませんでした。なお、修了者の内、2人がサポーター活動をしています。 受講修了者数はあまり伸びていませんが、活動の幅が広がり、修了者のうち活動につながっている人は年々増えています。 	
課題等	講座の魅力や目的等の周知について、新型コロナウイルス感染防止の関係で、サポーターの活動控えや受け入れ施設の制限があり、活動に繋げていく発信が困難な状況にありました。				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	2:進め方の改善の検討が必要	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き現在のサポーターの活動を広報や市ホームページを活用し、情報を発信していきます。 より多くの方に受講していただくため、講座の開催時間や内容、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン活用等を検討します。

分野	22	高齢福祉・障がい福祉	通番 37
施策	221	豊かな高齢期のための環境の充実	
5年後の目標		介護予防の取り組みが進み、生きがいや喜びを感じられる社会参加の機会が充実している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	老人福祉施設等整備事業		会計	款	項	目	-	高齢介護課
			-	-	-	-		
事業の概要								
高齢者の生きがい・健康増進活動の拠点である老人福祉センター竹寿苑が、建築後40年以上経過し設備の老朽化が進んでいることから、介護予防などの機能を付加した新たな高齢者の福祉センターとして、移転も含めた再整備について検討を行います。								

令和2年度の取組								
D (取組)	指標	老人福祉センター再整備の検討					単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
	平成28年度 新規事業	目標	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討	共生型福祉施設構 想と併せた検討	
		実績	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	会議にて検討	
<ul style="list-style-type: none"> ・共生型福祉施設構想検討部会（全体会議）及び共生型福祉構想検討部内会議において、介護予防拠点の機能を強化した老人福祉センターの再整備について検討し、今後のスケジュールを確認しました。 ・竹寿苑改築基本計画の策定作業に取り組みました。 					竹寿苑 外観			
								

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・竹寿苑改築基本計画の策定作業に取り組み、令和3年6月に策定できる見込みです。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府向日が丘支援学校改築計画の進捗状況の影響を受けるため、改築基本計画の策定が予定より遅れています。 ・多様化するニーズや課題などに対応するため、これまでの機能を見直し、介護予防を含めた新たな事業展開が求められています。 			

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
対応策等 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係部局と調整し、共生型福祉施設における竹寿苑の機能について検討し、令和3年度は竹寿苑改築基本・実施設計など、事業の具体化に取り組みます。 	